

8200

第八號

首題、件實彈射擊實施結果ニ基キ別紙  
ノ通提出ス

陸軍大臣川島義之殿

第十師團長松浦淳六殿

昭和拾壹年壹月拾日

九四式三七糎砲兵器彈藥ニ關スル意見見提出ノ件

陸軍省  
兵器課  
第一一號

陸軍省  
兵器課  
第五四號

甲兵部



昭和十年度師團合同教育凡四式三十七粒砲  
實彈射撃等實施ニ基ク故障概況外將來  
ニ關シ兵器彈藥ニ對スル意見

第十師團司令部

九四式三十七糎砲實射ニ基テ兵器改修意見

一、火砲ニ就テ

カ、駕尾ト轆桿接合部ニ皮革製覆ヲ附スルカ又ハ四式山砲ノ如ク轆桿接合部ヲ外側ヨリ嵌入スル如ク改修ヲ要ス

理由

一馬輓曳ニ方リ隅角通過ノ際輓馬飛節カ駕尾ト轆桿接合部ニ接觸シタル受傷騷擾シ爲陣地進入ヲシテ有整円滑ヲ缺キタリ  
要スルニ輓曳ノ際輓馬飛節位置ノ幅員ヲ大ナラシムルニテリ

口駐鋤ノ形態ヲ増大スルヲ要ス

理由

強度相當ト覺シキ濃サヲ有スル尋常土ニ於テ二十四發發射セシニ土地反起ヲ生シ他ニ移ルニ非サレハ精確ナル射撃ヲ繼續シ得サルニ至ラシメタリ 故ニ駐鋤ノ形態ヲ増大シ地質ニ應シ其打入量ヲ加減シ得ル如クスルニテリ

ニ火工具ノ新制定ヲ要ス

イ 莢口擦締器ノ新設

理由 運動及取扱間ノ彈軸変歪ヲ豫防スルニアリ

ロ 彈藥筒検査器ノ新設

理由 藥莢ノ定寸度以上ノモノ彈軸変歪ヲ點檢矯正スルニアリ

三 九四式三十七糎砲用彈藥ニ關スル意見

ノ曳光彈ヲ制定シ年度演習用徹甲(代用)彈ノ全数中ニ約一割ヲ加給セラレ度

理由 連續射ニ於テ平均彈道ヲ知ラシカ爲ナリ

ニ 彈底信管ノ戻廻予防ヲ強度ニスル如ク制式改修ヲ要ス

理由 實射ノ結果ニ徴スルニ本火砲用徹甲彈ハ(射距離八〇〇—一、二〇〇地形十分ノ一前傾斜土質

尋常土ニシテ芝ヲ有シ天候連日小雨(發射  
 後彈著點附近ニ於ケル不發彈ヲ見ルニ彈底信  
 管ノ稍々戻突出シアルモノヲ認ム  
 戻防止ニ火工作業ニ於テ信管裝著後戻  
 止メノ「ポンチ」三個ヲ打刻シ置キタリ

3 徹甲彈々底信管ノ發火抗カヲ尙微弱ナラシムルヤノ要アリ  
 理由 同彈ノ信管ハ相當抗力大ナル目標ヲ侵透スルニ非

サレハ爆發セサルモノアレハナリ(射場及彈著點ハ前同シ)  
 以上不發彈検査ノ實蹟トス